

## No. 9

来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。

- 問 昭和10年前後の流行語が載っている本が見たい。
- 答 基本的な参考図書で直接調べると

「昭和 第4巻 昭和10年~12年」(210.7 Ko19 開架大型)

〇「あなぁた」「なぁんだい」 昭和10年

【『二人は若い』の中の歌詞(うた ディック・ミネ、星玲子)】

○「あ一のねえ、おっさん、わしゃか一なわんよ」 昭和10、11年 【日活映画『怪盗白頭巾』の中の喜劇俳優、高勢実乗のセリフ】

「昭和日本史 別巻 歴史三六五日」(210.7 Sh97 B2 開架大型)

- 〇「今からでも遅くない」 昭和11年
- 〇「国民歌謡」 昭和11年

ほか

「昭和史の事典」(210.7 Sa75 閉架)

流行語についての検索方法は、来館者用検索端末で

全ての資料 → 全資料・全項目 → 流行語

で 31件 検索できます。

※但し、今回の場合昭和10年前後のものなので、該当件数は 2件 です。また、そのうちの1件である「大衆文化事典」はCD-ROMのほかに、図書(R210, 03 Ta24)で参考図書の書架にあります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。 検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。 操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。 もう一冊…・って、もう何回目なのかな?。今日はちょっと場所を代えて(?)外に出てみます。 昭和館は九段下交差点にありますから、坂下に向かって少し歩くと、そう、世界最大の古本街、 神保町があります。ここは本好きのメッカ。日光を見ないで結構といってもかまいません。ヴェニスを見ないで死んでもオーケイ。でも、神保町を歩かずに「もう一冊」は語れません。

私が小さいころの神保町の古本屋さんは、老舗の一誠堂以外は、どこもかしこもボロボロの木造店舗で、ギーギーと引き戸を引っ張って入ったものです。新刊書店では三省堂が古色蒼然たる建物で、ちょっと薄暗いイメージでした。当時の立派な建物といえば、今残っている中では、先に書いた一誠堂や、画材屋の文宝堂を見てもらえばわかります。

もっとも、そのころ私は小学生ですから買うのは10円か20円の雑誌ぐらい、ほんとのお客になるには、まだ10年早いのです。

10年たった昭和43年ころに、古本屋さんの組合ビルが鉄筋になり、2階で毎週金曜と土曜に開かれる定例古書展が最大の楽しみになります。ここでは、店頭の本棚には並ばないような絵葉書や、ポスターなんかも並びます。今思えば何でも安かった。当時天文学史に興味があったので、古い天文学関係の本をどんどん捜しては買いました。最後には「00文学」というタイトルが「00天文学」に見えて困ったほど・・。イタリアの天文学者、スキャパレリーの「旧約の天文学」という本で、初めてキリスト教世界の一日は日没から始まることを知りました。聖書には、"夕あり朝あり。かくて一日"とあるのです。…なるほど。

次いで美術書を集めました。誰も信じてくれませんが、「芸術少年」だったのです。戦時中の美術雑誌など、ハッキリと「タダ同然」でした。戦時中の美術雑誌には、私の神様、レオナルド藤田の作品が多数発表されているのです。ああ、買わなければバチがあたる。

そう思いながら、持ち上がらないほどの雑誌の山を担いで帰ったものです。

……いけない、いけない。話を昭和館に戻しましょう。

さて、今回の話は、「もう一冊は、自分で探してみましょう。」と言う事なのです。どんな巨大な 図書館、資料館でも、世の中の本が全部有るわけではありません。面白い本を見つけて、何か関係 のある本は無いかな?。と思ったとき、まず、昭和館の検索端末をたたくのが一番よい方法ですが、 古本屋さんを歩いてみると、思いがけない本に出会うことがあります。古本屋さんを歩いていると、 「図書館にも無い本」というのが、すこしも珍しいものではないことが分かります。

今回は、雑談で終わってしまいましたが、次回は、こうして「外歩き」で"見つけた" もう一冊を、紹介してみましょう。 (午睡)

\_.\_.\_.

## -図書室から-

まだまだコートに手袋の毎日ですが、あと1か月程で、九段界隈も桜のつぼみがほころびはじめます。 春が待ちどおしい季節です。

- \*新着雑誌のバックナンバー(昨年分)を別置しました。
  - ・新着雑誌棚にある雑誌の昨年分は、書庫に納めました。ご利用になりたい方は、カウンターにお申しつけください。

ぶらりらいぶらりぃ ~図書室にはこんな本があります~ No.9 2000年2月25日 発行 編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1